

## 令和3年度 上小農業青年クラブ プロジェクト活動・意見発表会を開催しました

青年農業者が、課題解決のために実践してきた取組の成果と、日頃抱いている夢や想いを発表することにより、農業者としてのスキルアップを図るため、12月21日に上田合同庁舎講堂にて標記発表会を開催しました。

当日は、会場へ集まる人数を絞るため、農業青年クラブ役員や新規就農者、関係者など約30名の参加に制限し、一般のクラブ員に対してはオンライン配信を行いました。

発表会は、意見発表の部とプロジェクト活動発表の部があり、今年度はそれぞれ3名、計6名の青年農業者と参考発表として丸子修学館高等学校の生徒1名が発表しました。

意見発表の部で最優秀賞を受賞した、東御市農業青年クラブの楢原勇太さんは「農家として生きていく」を題に、自分の農業に対する決意について発表しました。

プロジェクト活動発表の部で最優秀賞を受賞した、同クラブの菅谷惣さんは「長期どりネギ栽培の課題」を題に、ネギ栽培における課題や栽培データを取ることの重要性について発表しました。

また、当日は長野県農業技術課の高橋副主任専門技術員より「農業経営の診断と計画の策定について」を題に御講演頂きました。

なお、最優秀賞を受賞された2名は、令和4年2月9日佐久市で開催される「令和3年度明日の長野県農業を担う若人の集い」へ上田地区代表として発表して頂きます。



意見発表の部最優秀賞受賞の楢原勇太さん



プロジェクト発表の部最優秀賞受賞の菅谷惣さん